

2. 指標設定

成果指標	指標名	農業の担い手確保・育成		H27	指標の設定理由			
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、基本施策(4-1-3)及び市担い手育成総合支援協議会アクションプランの目標としているため			
活動指標	指標	a	認定農業者認定数	b	集落営農組織数	c	新規就農者数	d
	数値	目標	426人	目標	75集落	目標	—	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
農業の担い手確保・育成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 認定農業者認定数	人	412人 96.7%	408人 95.8%	400人 93.9%
b 集落営農組織数	ヶ所	69ヶ所 92.0%	70ヶ所 93.3%	71ヶ所 94.7%
c 新規就農者数	人	23人	18人	14人
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
本市の基幹産業である農業は、担い手の高齢化、認定農業者の減少、農業後継者不足等により、耕作放棄地の増加、農業生産額の減少、地域活力の低下が進んでいる。
対応（改善点等）
今後も担い手の減少が進むものと推測されるなか、農業の将来を決める重要な時期に差しかかっている。引き続き関係機関と連携し、担い手の確保・育成に集中的かつ重点的に取り組む。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

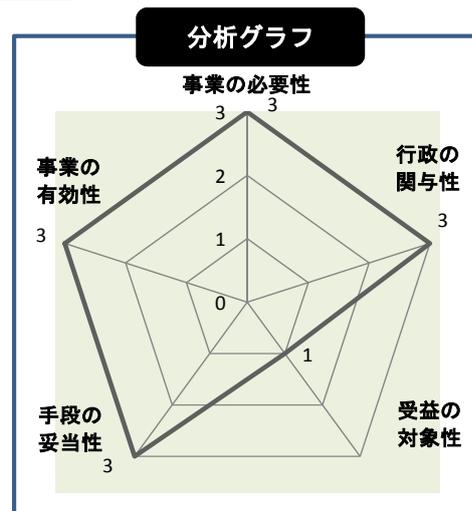
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		7,190	6,117	2,847	2,070
財源内訳	国費				
	県費	9,069	21,384	42,938	70,509
	市債				
	その他				
	一般財源	37,177	24,612	9,455	12,563
うち経常		7,190	6,117	2,847	2,070
事業費に係る人件費		16,340	16,316	16,564	13,307
事業費に係る人役		3.80	3.80	3.80	3.00

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
担い手の育成と新たな農業の担い手を、確保する施策を講じる必要がある。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 基幹産業である農業の担い手の確保・育成は、大変重要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 基幹産業である農業の担い手の確保・育成は、市及び関係機関と連携し支援しなければならない。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 基幹産業である農業従事者数7,425名であるが、認定農業者制度等の専業農家を支援する。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 主に農業で生計を営む認定農業者、集落営農組織、新規就農者を支援する。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 高齢化で認定農業者を解除する農家が多いが、新規就農者の確保数が増えている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき、事業を検証し推進すること。